

第**76**期
中間報告書
2021.4.1～2021.9.30

業績ハイライト

第76期第2四半期(累計)の業績



第76期通期の業績予想





グループ経営基盤の強化に努めるとともに、 食文化の発展に貢献し、企業価値を最大化してまいります。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社第76期第2四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の事業および財務の概況のご報告を申し上げます。

2021年12月

代表取締役社長 **勝田 昇**

事業の経過およびその成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく停滞した経済活動は徐々に回復しつつありますが、輸出、生産活動には持ち直しの動きがみられるものの、このところそのテンポは弱く、また、設備投資、雇用・所得環境、個人消費の回復は鈍く、依然として厳しい状況にあります。先行きは、ワクチン接種の普及により感染者数が減少し、経済活動の本格的な回復が期待されますが、不透明な状況にあります。

消費者心理は、雇用・所得環境など経済情勢の先行き不透明感から厳しい状況にあります。また、消費者の購買行動は、新型コロナウイルス感染防止から人との接触を控える行動様式が続き、食料品などの日用品購買が中心になっていますが、節約志向は依然として続いています。

水産物流通業界におきましては、新型コロナウイルス感染防止に伴う世界的な行動自粛などの影響により、内食関連需要は一部伸長するものの、外食・宿泊・インバウンド関連需要や輸出の回復は鈍く、加えて業種・業態の垣根を越えた販売競争が繰り広げられるなど、極めて厳しい経営環境下にあります。

このような環境にあつて、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費

の削減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。そのうえで、『OUGグループ中期経営計画2021』(2021年度～2023年度)を実践することにより、バリューチェーンの最適化を意識したグループ役職員の個々の行動変容を通じ、業績を向上させてまいります。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は1,397億78百万円(前年同四半期は1,380億49百万円)となりました。損益面では、売上総利益は128億42百万円(前年同四半期比117.2%)となり、営業利益10億73百万円(前年同四半期は営業損失3億57百万円)、経常利益12億15百万円(前年同四半期は経常損失1億88百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益7億83百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億79百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、水産物価格が総じて上昇する中、内食関連販売の堅調な推移に加え、主に冷凍水産物については、価格動向と需要とのバランスを取った販売に努め、売上高893億14百万円(前年同四半期は893億87百万円)、セグメント利益16億6百万円(前年同四半期比255.1%)となりました。

なお、収益認識に関する会計基準の適用の影響により、当第2四半期連結累計期間の売上高が63億42百万円減少しております。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、量販店関連の販売は堅調に推移しましたが、外食・ホテル関連の販売は引き続き低迷したまま、利益面では物流コストの上昇等もあり、売上高518億24百万円(前年同四半期は490億45百万円)、セグメント損失7億円(前年同四半期はセグメント損失8億87百万円)となりました。

なお、収益認識に関する会計基準の適用の影響により、当第2四半期連結累計期間の売上高が38億44百万円減少しております。

<養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、売上高34億44百万円(前年同四半期は38億89百万円)となりましたが、販売数量は減少したものの、ブリ需要に対する国内養殖業者の生産数量不足から販売価格は上昇し、セグメント利益1億93百万円(前年同四半期比843.7%)となりました。

なお、収益認識に関する会計基準の適用の影響により、当第2四半期連結累計期間の売上高が4億23百万円減少しております。

<食品加工事業>

消費地にある食品加工センターでの水産加工、量販店向けの米飯加工、カット野菜加工、飲食事業者向けの加工・調理サービスなどを行う食品加工事業は、外食・ホテル・ブライダル関連の販売は引き続き低迷したまま、量販店関連の販売は堅調に推移し、売上高21億54百万円(前年同四半期は19億79百万円)、セグメント損失17百万円(前年同四半期はセグメント損失1億16百万円)となりました。

なお、収益認識に関する会計基準の適用の影響により、当第2四半期連結累計期間の売上高が2億65百万円減少しております。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け・配送を行う物流事業は、内食関連のセンター業務及びギフト関連業務は堅調に推移しましたが、運賃収入の減少により、売上高9億33百万円(前年同四半期は9億57

百万円)、セグメント損失7百万円(前年同四半期はセグメント損失3百万円)となりました。

なお、収益認識に関する会計基準の適用の影響により、当第2四半期連結累計期間の売上高が1億67百万円減少しております。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、インバウンド需要の低迷等の影響を受け水産物小売事業の販売が回復せず、売上高14億90百万円(前年同四半期は14億36百万円)、セグメント損失1億5百万円(前年同四半期はセグメント損失1億20百万円)となりました。

なお、収益認識に関する会計基準の適用の影響により、当第2四半期連結累計期間の売上高が36百万円減少しております。

今後の見通しにつきましては、水産物流通業界においては、内食関連需要は堅調であるものの、外食・宿泊・ブライダル・インバウンド関連需要や輸出はワクチン接種の普及により本格的な回復が期待されますが、その回復は鈍いと予測されます。

また、消費者の日常消費に対する節約志向は継続し、加えて業種・業態の垣根を越えた販売競争が激化するなど厳しい経営環境が予測されます。

このような経営環境下にあつて、当社グループは、『OUGグループ中期経営計画2021』(2021年度から2023年度)に掲げるグループを横断する4つの重点テーマである「鮮魚事業(取引)の拡大」、「加工事業(取引)の拡大」、「エリア戦略の推進」、「海外事業の推進」に取り組むとともに、バリューチェーンの最適化を意識したグループ役職員の個々の行動変容を図り、業績を向上させてまいります。

併せて、グループ情報基盤の整備、グループ品質保証システムの構築、サステナビリティへの取組みなどグループ経営基盤の強化に努めてまいります。

このようなグループ一体としての企業活動を通じ、お客様に価値ある商品とサービスを提供することにより、食文化の発展に貢献し、企業価値を最大化してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

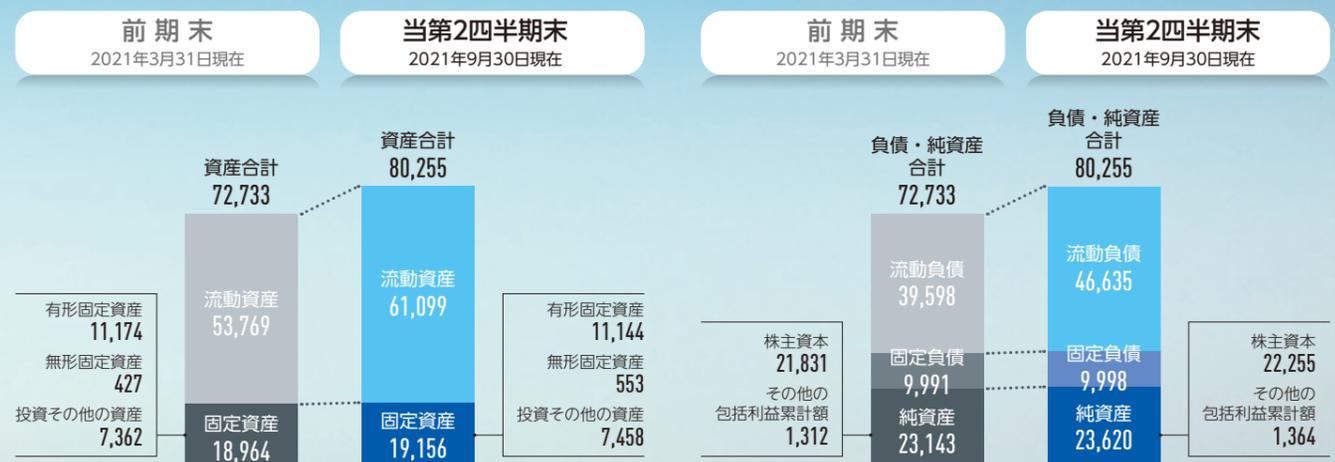
四半期連結財務諸表(要約)

連結損益計算書のポイント(単位:百万円)



(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表のポイント(単位:百万円)



(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 会社概要

(2021年9月30日現在)

社名	OUGホールディングス株式会社
主要な事業内容	定款に定められた事業を営むこと、ならびに定款で定められた事業を営む会社およびこれに相当する事業を営む外国会社の株式もしくは持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配、管理することおよびこれに関連する業務を行うことを目的としております。
設立	1946年6月12日（創業1947年10月1日）
資本金	6,495百万円
従業員数	連結1,438名 単独27名

▶ 役員の体制

(2021年9月30日現在)

取締役	代表取締役社長	勝田 昇
	取締役	中江 一夫
	取締役	橋爪 康至
	取締役	梅島 信也
	取締役	三浦 正晴（社外取締役）
	取締役	荻野 義明（社外取締役）
監査役	常勤監査役	辰 清広
	監査役	和田 徹（社外監査役）
	監査役	小竹 伸幸（社外監査役）
	監査役	石川 英機（社外監査役）
執行役員	執行役員	岡田 雅之
	執行役員	山田 稔
	執行役員	中村 耕

▶ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777(通話料無料)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更等の各種手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続き用紙のご請求につきましては、三菱UFJ信託銀行(特別口座管理機関)の上記連絡先の電話(受付時間:土日・祝祭日等を除く平日9:00~17:00)およびインターネット(24時間)でも承っております。
<https://www.tr.mufj.jp/daikou/>

上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部(証券コード8041)
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。公告掲載の当社ホームページアドレス https://www.oug.co.jp

免責条項
本中間報告書に掲載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

▶ 株式の状況

(2021年9月30日現在)

発行可能株式総数	20,915,900株
発行済株式の総数	5,562,292株
株主数	13,300名

▶ 大株主（上位10名）

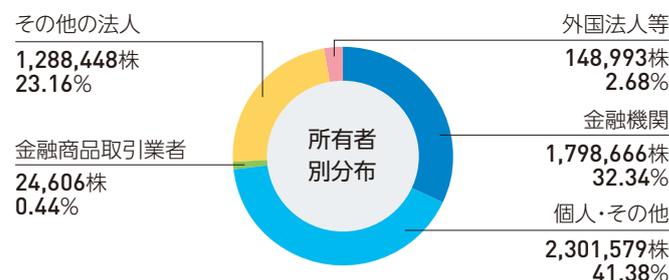
(2021年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
マルハニチロ株式会社	745	13.44
日本生命保険相互会社	265	4.78
農林中央金庫	263	4.75
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	237	4.28
株式会社りそな銀行	184	3.32
株式会社みずほ銀行	175	3.16
三菱UFJ信託銀行株式会社	151	2.74
株式会社三菱UFJ銀行	115	2.07
丸大食品株式会社	115	2.07
OUGグループ従業員持株会	114	2.07

(注)持株比率は、自己株式(16,895株)を控除して計算しております。

▶ 株式分布状況

(2021年9月30日現在)



Web Information

当社ホームページでは、当社の最新ニュースを株主・投資家の皆様に向け、発信しております。IRニュースや決算発表のページ、動画によるグループ各社の紹介、優待品を掲載した株主優待のページなど様々な情報を掲載しておりますので、ぜひご利用ください。



<https://www.oug.co.jp>

OUGホールディングス株式会社

〒553-0005 大阪市福島区野田二丁目13番5号 うおいちニッセイビル5階
TEL : 06-4804-3031 FAX : 06-4804-3145

